

リデュース リユース リサイクル

# 生ごみ減量化処理機器購入費補助制度のご利用を

市では、燃やすごみの減量と資源循環型社会形成の推進を目的に、生ごみ減量化処理機器購入費補助制度を実施しています。多くの市民の皆さんにご理解・ご協力をいただき、制度を利用していただいています。

家庭用生ごみ減量化処理機器購入費補助の申請件数は、平成26年度は270件

で、平成25年度の265件と比べて、5件増加しました。

本市ではさらなる燃やすごみの減量に努めていくことが必要となります。今後も発生抑制を最優先としたごみの減量や分別の徹底にご理解・ご協力をお願いします。

## 家庭用生ごみ減量化処理機器購入費補助制度

**対象** 市内在住で、新たに生ごみ減量化処理機器を購入し、使用する方  
※ 以前補助を受けた方は、家庭用電動生ごみ処理機および家庭用手動かくはん式生ごみ処理機は購入後5年、生ごみ堆肥化容器は購入後3年を経過した場合に対象となります。

**補助金額** 購入金額（消費税含む）の5分の4（100円未満の端数は切り捨て）以内で各機種ごとの補助上限額までとします。販売店などが行っているポイントやクーポンなどの割引分およびキャッシュバック分を除いた、購入者が実際に負担した金額が基準となります。配送費は補助の対象になりません。

- ▷ 家庭用電動生ごみ処理機=50,000円まで
- ▷ 家庭用手動かくはん式生ごみ処理機=30,000円まで
- ▷ 生ごみ堆肥化容器=8,000円まで

**例** 50,000円の家庭用電動生ごみ処理機を購入した場合、40,000円（購入金額の8割）は市で補助され、10,000円が自己負担額となります。

**申請について** 事前申請が必要となります。処理機器を購入する前に必ずごみ対策課までご連絡ください。

※ 市の承認前に処理機器を購入した場合、補助の対象になりませんのでご注意ください。

**その他** ▷申請額が予算額に達した時点で受け付けを終了します。▷補助を受けた方を対象に、後日アンケート調査などを実施する場合がありますので、ご協力をお願いします。



## 家庭用生ごみ減量化処理機器タイプ別特徴

タイプ	処理方式	特徴
家庭用電動生ごみ処理機	乾燥型	▷ 使用方法は比較的簡単。 ▷ 機器がコンパクトで、スペースをとらない。 ▷ 乾燥物の取り出しが必要。 ▷ 熱によって乾燥処理するため、電気代がかかる。
	バイオ型	▷ 上手に使用すると、生成物の取り出しがない。 ▷ 定期的な菌床を交換する必要がある。 ▷ 他タイプと比べ大きく、屋外用として販売されている機種が多い。
家庭用手動かくはん式生ごみ処理機	手動で生ごみをかくはんさせ、微生物を利用し発酵分解することで、容量を減少させる。	▷ 上手に使用すると、生成物の取り出しがない。 ▷ 機器がコンパクトで、スペースをとらない。 ▷ 電気代がかからない。 ▷ 価格が安い。 ▷ かくはんを手動で行う。 ▷ 定期的な菌床を交換する必要がある。
生ごみ堆肥化容器	微生物を利用し、生ごみを発酵分解することで、容量を減少させるとともに堆肥化する。	▷ 電気代がかからない。 ▷ 価格が安い。

※ 家庭用電動生ごみ処理機（乾燥型）をご利用の方には、生ごみ乾燥物の戸別回収（無料）を実施しています。事前の申し込みが必要となりますので、詳しくは、お問い合わせください。家庭用電動生ごみ処理機（乾燥型）のうち、温風式については、生成物の乾燥が不十分であり、堆肥化に適さないことが判明しました。平成28年度から、温風式を新規で購入された方は、生ごみ乾燥物の戸別回収の対象となりませんので、ご注意ください。

## 大型生ごみ減量化処理機器購入費補助制度

**対象** 町会、自治会、集合住宅管理組合など、地域においておおむね20世帯以上の家庭などで構成される団体

**補助金額** 大型生ごみ減量化処理機器の購入に要した本体価格および設置費用の5分の4に相当する額。100万円を限度額とします。

※ 大型生ごみ減量化処理機器をご利用の方は、生ごみ乾燥物の戸別回収（無料）の対象となります。詳しくは、お問い合わせください。

## 事業用生ごみ減量化処理機器購入費補助制度

**対象** 市内に事務所または事業所を有し、新たに生ごみ減量化処理機器を購入・設置し、使用する方

**補助金額** 購入金額（消費税含む）の2分の1（100円未満の端数は切り捨て）以内で100万円を限度とします。購入者が実際に負担した金額が基準となりますので詳しくは、お問い合わせください。

問合せ ごみ対策課清掃係 ☎042-387-9835

リデュース リユース リサイクル

# ぐるカメ大作戦 チェックリスト（買い物編）



生活していくうえで、ごみは必ず発生しますが、身近にあることを工夫すればごみを減らすことができます。買い物をする時ごみを減らす取り組みはたくさんあります。また、取り組みれば節約にもつながります。いくつあてはまるかチェックしてみましょう。

### リデュース (Reduce) = 発生抑制

ごみになるものを元から減らすこと

- 買いすぎない（量り売りやばら売りで必要な分を買う）
- マイバッグを持ち歩き、レジ袋は断る
- 過剰な包装は断る
- 使い捨て商品は買わない
- シャンプーなどは詰め替え商品を買う

### リユース (Reuse) = 再使用

使えるものは何度でも使うこと

- 繰り返し使える商品を選ぶ
- 長く使える商品を選ぶ（壊れたら修理して大事に使う）
- フリーマーケットやリサイクル事業所、リサイクルショップを利用している



0～3個  
チェックの  
あなたは…

ごみを減らす初心者だギッ。  
マイバッグの持参や  
買いすぎないなど、  
まずは身近なことから  
始めるギッ！



4～7個  
チェックの  
あなたは…

なかなかやるじゃないか…  
だが、もっと取り組みば  
ごみも減り、  
節約もできるぞ～  
グッ！



8個以上  
チェックの  
あなたは…

ごみを減らす  
スペシャリスト！  
そして買い物上手！  
今のライフスタイルを  
続けていこう！

### リサイクル (Recycle) = 再生利用

資源になるものを捨てずに再生利用すること

- 再生利用商品を選ぶ
- 牛乳パック、食品トレイ、ペットボトルなどは販売店の店頭回収を利用する

みなさんはいくつチェックができましたか？あまりチェックがつかない方は、まずは身近でごみを減らすことにはないか考え、積極的に取り組んでいきましょう。たくさんチェックがついた方は、今後もごみを出さないライフスタイルを継続していきましょう。また、家族の人や周りの人たちと一緒に、ごみの減量について考え、取り組んでいくことも大切です。おうちの中や買い物だけでなく、ふだんの暮らしの中でごみを手軽に減らす取り組みはたくさんあります。

ぐるカメ大作戦チェックリストは市ホームページでも随時公開します。今回だけでなく、継続してチェックすることで、ごみの減量についての意識が高まり、ごみを出さないライフスタイルの継続にもつながります。